

INTERIOR WALL FACE EXECUTION METHOD WITH TILE

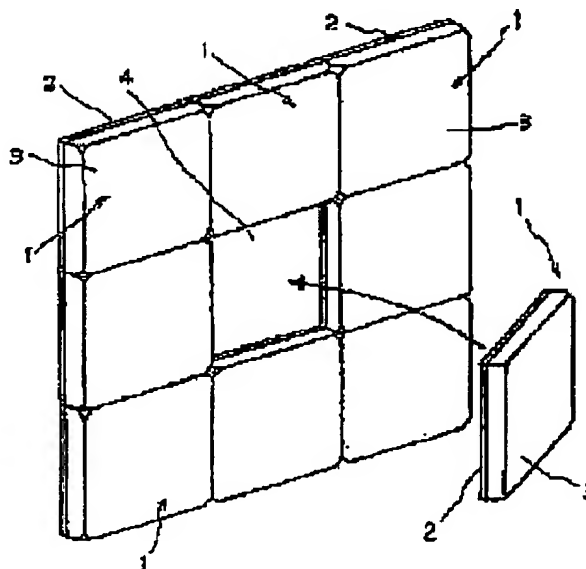
Patent number: JP11117497
 Publication date: 1999-04-27
 Inventor: SUZUKI MASAOKI
 Applicant: MAGUENKUSU KK
 Classification:
 - International: E04F13/08; E04F13/14
 - European:
 Application number: JP19970296258; 19971014
 Priority number(s): JP19970296258; 19971014

Report a data error here

Abstract of JP11117497

PROBLEM TO BE SOLVED: To simply apply indoor remodeling at a low cost by arranging a magnetized sheet on an interior wall face, sticking a magnet sheet to the back face of a tile, and replaceably arranging the tiles.

SOLUTION: A magnet sheet 2 mixed with magnetic powder made of a hard magnetic material such as barium ferrite or strontium ferrite into a synthetic resin material is stuck to the back face of a pottery tile main body 3 to form a magnetic tile 1. The magnetic tiles 1 are removably stuck to a magnetized body 4 made of a magnet sheet or steel paper. Patterns and colors are applied to the surfaces of the tile main bodies 3, and a tile surface abundant in a decorative property is easily formed when they are properly arranged or rearranged. When a tile 1 is cracked or damaged, only this tile 1 can be replaced. A space image can be easily created without requiring large labor and cost in a store or a house.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-117497

(43)公開日 平成11年(1999)4月27日

(51)IntCl ⁹	識別記号	FI
E 0 4 F 13/08	1 0 1	E 0 4 F 13/08 1 0 1 L
13/14	1 0 3	13/14 1 0 3 A

審査請求 未請求 請求項の数2 FD (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平9-298258

(22)出願日 平成9年(1997)10月14日

(71)出願人 00013/339

株式会社マゾエックス

東京都中央区東日本橋1丁目9番13号

(72)発明者 鈴木 正明

栃木県黒磯市島方449-45

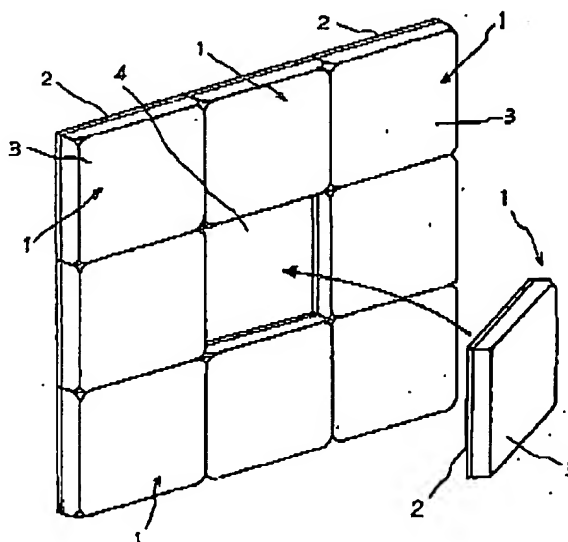
(74)代理人 弁理士 田辺 敏郎

(54)【発明の名称】 タイルを用いたインテリア壁面施工方法

(57)【要約】

【課題】 交換自在なタイルを替えることで壁紙を替えるよりも簡単かつ廉価にインテリアを模様替えることのできるとともに、ひび割れ等で損傷したタイルを容易に交換することができるタイルを用いたインテリア壁面施工方法を提供する。

【解決手段】 合成樹脂材にバリウムフェライト等の硬磁性材料の磁性粉を混入しシート状に成形してこれを着磁したマグネットシート2を、陶磁器製のタイル本体3の裏面に接着等により配設してインテリア用の磁着タイル1を形成する。この磁着タイル1を、インテリア用壁面を形成する被磁着体4に取付け取外し自在に磁着する。



(2)

特開平11-117497

【特許請求の範囲】

【請求項1】 インテリア用壁面に被磁着体を配設し、この被磁着体壁面に対し合成樹脂材に硬磁性材料の磁性粉を混入しシート状に成形しこれに着磁したマグネットシートをタイル本体の裏面に配設して形成したインテリア用磁着タイルを取付け取外し自在に磁着しインテリア壁面を形成したことを特徴とするタイルを用いたインテリア壁面施工方法。

【請求項2】 インテリア壁面に配設した被磁着体は、合成樹脂材に軟磁性材料の粉体を混入し薄いシート状に成形した可撓性を有する壁紙状の被磁着シート若しくは薄いスチールシートに紙を貼着して形成されたスチールペーパーからなることを特徴とする請求項1記載のタイルを用いたインテリア壁面施工方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インテリア壁面に配設したタイルを取り替えることで簡単かつ廉価にインテリアを模様替えることができるとともに、損傷したタイルを容易に交換できるタイルを用いたインテリア壁面施工方法に関する。

【0002】

【従来の技術】陶磁器製のタイルは、耐火性、防水性に優れていることから元来台所、浴室等において使用されることが多いが、昨今は装飾性豊かにデザインされたタイルが多くなってきたことから、外壁に模様を形成して用いたり、居室の壁面に絵画のようにアクセント的に配設して用いられることも多い。そして、タイルの施工としては、タイルの裏面にモルタルや接着剤を塗着し、これを壁面に貼付ることが行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述した施工方法により一旦壁面に貼付られたタイルは、ひび割れ等で損傷しても1枚だけを交換することはモルタルや接着剤で堅固に接着されていることから困難であった。

【0004】また、デパートを始め各種店舗等においては、適宜な時期ごとにインテリアを変更して新イメージ作りを行っているが、壁紙を替えるだけでも多大な手間と費用を要することから、もっと手間と費用を要することなく気軽に要領でインテリアを変更する手段が求められていた。また、住宅の居室等にあっても同様に簡単にインテリアを変更する手段が求められている。

【0005】そこで本発明は、交換自在なタイルを替えることで壁紙を替えるよりも簡単かつ廉価にインテリアを模様替えることができるとともに、ひび割れ等で損傷したタイルを容易に交換することができるタイルを用いたインテリア壁面施工方法を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】前述の目的を達成するため、本発明のタイルを用いたインテリア壁面施工方法は、インテリア用壁面に被磁着体を配設し、この被磁着体壁面に対し合成樹脂材に硬磁性材料の磁性粉を混入しシート状に成形しこれに若磁したマグネットシートをタイル本体の裏面に配設して形成したインテリア用磁着タイルを取付け取外し自在に磁着しインテリア壁面を形成したことを特徴とするものである。

【0007】また、インテリア壁面に配設した被磁着体は、合成樹脂材に軟磁性材料の粉体を混入し薄いシート状に成形した可撓性を有する壁紙状の被磁着シート若しくは薄いスチールシートに紙を貼着して形成されたスチールペーパーとしてもよい。

【0008】

【発明の実施の形態】図1は、本発明のタイルを用いたインテリア壁面施工方法を示し、1は合成樹脂材にバリウムフェライトやストロンチウムフェライト等の硬磁性材料からなる磁性粉を混入しシート状に成形しこれに着磁したマグネットシート2を、陶磁器製のタイル本体3の裏面に接着等により配設して形成したインテリア用の磁着タイル、4はインテリア用壁面に配設若しくは壁面として形成された被磁着体である。そして磁着タイル1は、インテリア用壁面を形成する被磁着体4に対し取付け取外し自在に磁着している。

【0009】磁着タイル1は、図2に示す如く、陶磁器製のタイル本体3の裏面にマグネットシート2を接着剤を用いて固定的に接着している。このマグネットシート2の磁着面には、N極とS極とが数ミリメートル間隔で交互に帯状に着磁されることが必要であるものの、マグネットシート2におけるタイル本体3との被着面は、必ずしも着磁されている必要がない。

【0010】被磁着体4としては、磁石体が磁着し得る鉄板、銅板等の剛体以外にも、合成樹脂材にソフトフェライトや純鉄等の保磁力の小さい軟磁性材料からなる粉体を混入し薄いシート状に成形した可撓性を有する被磁着シートを壁紙状にしたものや、薄いスチールシートに薄い紙を貼着して形成された所謂スチールペーパー等を用いることができる。

【0011】このような構成からなる磁着タイル1と被磁着体4を用いることにより、予め被磁着体4を配設したインテリア用壁面に対し、複数枚の磁着タイル1を取付け取外し自在に磁着させて適宜な大きさのタイル面を形成することができる。

【0012】そして、タイル本体3の表面に模様や色彩を施して、それらを好適に配置・並べ替えることにより装飾性豊かなタイル面を容易に作り上げることが可能となる。また、配設した磁着タイル1がひび割れ等で損傷した場合には、その損傷した磁着タイルのみを容易に取外すことができ、そしてそこに代替の磁着タイルを交換自在に取付けることができる。

(3)

特開平11-117497

【0013】このように配設した磁着タイルの交換が容易に行えることから、頻繁に模様替えを行う店舗等にあつては、大掛かりで多大な費用を要する内装工事を行うことなく、磁着タイルの配置替えや交換により容易かつ廉価に模様替えすることができ、きわめて好適である。

【0014】尚、上述した実施例にあつては同一形状からなる陶磁器製のタイル本体3について説明したが、これ以外にも陶磁器でないプラスチック製、木製、自然石等のタイルでもよく、また同一の幅径からなるものでなくさまざまな幅径、形状のものを用意し、これを種々組み合わせて配置することで既存のタイル配置構造にとらわれない新しいインテリアデザインを作り上げてよいものである。

【0015】

【発明の効果】以上詳述の如く、本発明のタイルを用いたインテリア壁面施工方法によれば、インテリア用壁面に被磁着体を配設し、この被磁着体壁面に対し合成樹脂材に硬磁性材料の磁性粉を混入しシート状に成形しこれに着磁したマグネットシートをタイル本体の裏面に配設して形成したインテリア用磁着タイルを取付け取外し自在に磁着しインテリア壁面を形成したことで、タイルを取り替えることにより壁紙を替えるよりも簡単かつ廉価

にインテリアを模様替えすることができるとともに、ひび割れ等で損傷したタイルを容易に交換することができる。これにより、各種店舗や住宅等にあつては多大な手間と費用を要することなく容易に空間の新しいイメージを創出することが可能となるものである。

【0016】また、インテリア壁面に配設した被磁着体は、合成樹脂材に軟磁性材料の粉体を混入し薄いシート状に成形した可視性を有する壁紙状の被磁着シート若しくは薄いスチールシートに紙を貼着して形成されたスチールペーパーとした場合には、本発明に係る磁着タイルが磁着し得る被磁着体壁面を、壁に壁紙を貼着する要領にて容易に構築することができる。

【図面の簡単な説明】

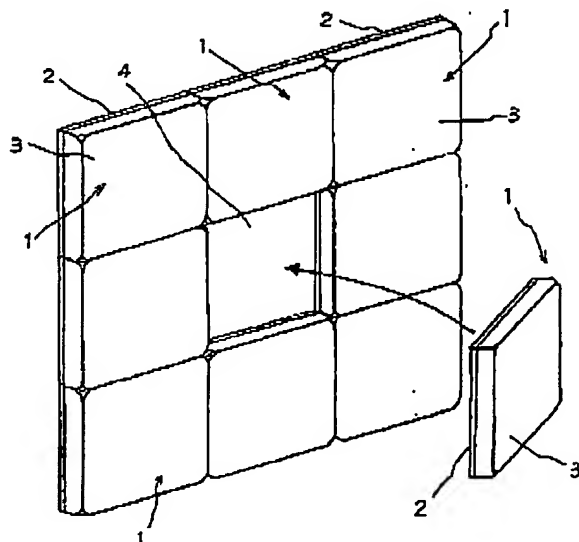
【図1】本発明のタイルを用いたインテリア壁面施工方法を示す説明図である。

【図2】本発明のタイルを用いたインテリア壁面施工方法における磁着タイルの断面図である。

【符号の説明】

- 1 磁着タイル
- 2 マグネットシート
- 3 タイル本体
- 4 被磁着体

【図1】



【図2】

